

# 分析結果報告書〔3〕 1 / 2

## 1.3 土壌試料(全磷)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得(複数回答可)	1. ISO 9001~9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025(ガイド25) 4. M L A P 5. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	( )年
分析主担当者の実績(年間の分析試料数)	( )

回数	分析結果(mg/g) 注1)	
	検出下限値以上 注2)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
1回目		
2回目		
3回目		

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注2) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字1桁で記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1. 硝酸-過塩素酸分解法 2. 硝酸-硫酸分解法 3. その他( )
使用した水	1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他( )

### < 試験溶液の調製 >

試料量	( ) g
試験溶液の調製に用いた酸の量	
硝酸	( ) ml
硫酸	( ) ml
注4) 過塩素酸	( ) ml
定容量(試験溶液量)	( ) ml

注4) 使用しなかった場合には、「0(ゼロ)」とする。

## 分析結果報告書〔3〕 2 / 2

< 吸光度法 >

試験溶液の分取量	(        )ml
測定波長	(        )nm

< 検量線の作成等 >

定量方法 方法	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. その他(        )
検量線 作成点数	(        )
作成範囲	最小(        ) ~ 最大(        ) 注1)
最高濃度の指示値	(        )
試料の指示値	(        ) 注2)
空試験の指示値	(        ) 注2)
検出下限値	(        ) mg/g 注3)

注1) 吸光度法では量(μg)を示す。

注2) 検量線の指示値と同じ単位で記入する。

注3) 試料中の濃度(mg/g)として示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--